

中妻 雅彦

教授

研究業績

2021年4月1日現在

著書・論文等の区分	著書・論文等の名称、発行所・発表雑誌・学会等の名称、共著の場合の編者・著者名、該当頁数	発行・発表年月
著書（単）	いきいきわくわく生活科—子どもを生活と学習の主人公に（あゆみ出版、全180ページ）	1992年10月
著書（単）	スピーチ活動でどの子ども伸びる—クラスの人間関係が変わる、学習の基礎が育つ（ふきのとう書房、全119ページ）	2003年8月
著書（共）	教師教育改革のゆくえ（共著者：中妻雅彦、金子真理子、三石初雄、岩田康之、坂井俊樹、小林達俊、寺岡英男、佐久間亜紀、荒川徳子、山崎準二、池田延行、木岡一明、第12章共同研究による教育力量形成～校内研究の課題と展望～pp. 215～222、創風社）	2005年12月
著書（共）	子どもと教師でつくる教育課程試案（監修：柴田義松 編著者：中妻雅彦、阿原成光、梅原利夫、小佐野正樹、第2章第2節「社会」、pp. 41～58、日本標準）	2006年3月
著書（共）	小学校社会科教師の専門性育成（東京学芸大学社会科教育学研究室編 編集代表：大澤克美 編集副代表：坂井俊樹、第11章 5年生の授業づくりと学習 II 子どもの視線から学習する日本の国土の学習、教育出版）	2006年3月
著書（共）	小学校社会科教師の専門性育成 改訂版（東京学芸大学社会科教育学研究室編 編集代表：大澤克美 編集副代表：坂井俊樹、第2部小学校社会科の授業づくり—学習指導の専門性（基礎編）5年生の授業づくりと学習 1:子どもの視線から学習する日本の国土の学習、教育出版）	2010年3月
著書（共）	学力と教育課程の創造（編著：前田賢次、新井眞一 共著者：中妻雅彦、前田賢次、佐々木勝男、白尾裕志、加藤公明、安井俊夫、渡辺雅子、木俣清博、第3章 1 今、問われる社会科の学力とは何か pp. 106～115、同時代社）	2012年3月
著書（共）	社会科教育（監修：橋本美保、田中智志 編著：大澤克美 共著者：中妻雅彦、小瑶史朗、新井正剛、石本貞衛、上野敬弘、内山隆、川崎誠司、窪直樹、近藤真、坂井俊樹、重松克也、鈴木隆弘、田崎義久、田代憲一、内藤圭太、渡部竜也、第10章 学習指導と評価の充実 pp. 137～152、一藝社）	2014年1月
著書（共）	「考える」社会科の授業—愛知教育大学教職大学院発（編著者：中妻雅彦、共著者：中妻雅彦、三上真葵、朝岡大、櫻井	2016年4月

	英輔、籾大貴、皆川崇真他 8 名、Ⅰ「考える」社会科の実践「考える」社会科とは? pp. 8~14、Ⅱ「考える」社会科のために「考える」社会科を進める教師 pp. 160~174、Ⅲ「考える」社会科のために 21 世紀の社会科学力 pp. 175~185、同時代社、全 187 ページ)	
著書 (共)	18 歳までに育てたい力—社会科で育てたい「政治的教養」— (監修:坂井俊樹 編著:小瑶史朗、鈴木隆弘、國分麻里 共著:中妻雅彦、井山貴代、石本貞衛、堀口博史、竹内裕一、板垣雅則、熊井戸綾香、吉岡大輔、窪直樹、内藤圭太、上園悦史、飯塚真吾、第 3 部変貌する社会と市民性 第 12 章「特別の教科 道徳」と高等学校公民科「公共」を考える、学文社)	2017 年 2 月
著書 (分担著書)	「学習指導案の作成 (単元計画と本時案)」大澤克美編『小学校社会科教師の専門性育成 (第三版)』教育出版、30~39 頁	2019 年 3 月
著書 (分担著書)	「子どもたちの発達課題と生徒指導」春日井敏之・山岡雅博編『生徒指導・生活指導』ミネルヴァ書房、41~56 頁	2019 年 5 月
著書 (分担著書)	「津軽から始まる「日本列島の歴史」?—三内丸山遺跡—」小瑶史明・篠塚明彦編『教科書と一緒に読む津軽の歴史』弘前大学出版会、8~15 頁	2019 年 7 月
著書 (分担著書)	「弥生稲作文化の北限地—垂柳、砂沢遺跡—」小瑶史明・篠塚明彦編『教科書と一緒に読む津軽の歴史』弘前大学出版会、16~23 頁	2019 年 7 月
論文 (単)	『協力』と『協働』の学校をめざして~スピーチ活動 10 年の実践を軸に~ (『教育方法学研究』第 30 巻、日本教育方法学会 p. 95~106)	2005 年 3 月
論文 (単)	子どもと教師の関係性を生かした小学校カリキュラムの編成~東京都稲城市立稲城第六小学校を例に (愛知教育大学研究報告第 58 輯 (教育科学編) pp. 163~170)	2009 年 3 月
論文 (単)	校内研究における若手教員の成長と課題 (1) (愛知教育大学研究報告第 61 輯 (教育科学編) pp. 157-164)	2013 年 3 月
論文 (単)	21 世紀の社会科学力—『希望学』を手がかりに— (愛知教育大学教育創造開発機構紀要第 3 号 pp. 105~111)	2014 年 3 月
論文 (単)	『緩やかなつながり、絆』で育つ教師—『教師の希望学』の可能性— (愛知教育大学研究報告第 62 輯 (教育科学編) pp. 167-174)	2014 年 3 月
論文 (単)	若手教員の資質を形成する『学校実習』の役割—教師力向上実習と学校サポーターを比較して— (愛知教育大学研究報告	2015 年 3 月

	第 63 輯（教育科学編） pp. 173～177)	
論文（単）	「理論と実践の融合」をめざした教職大学院の授業改善—学生授業、リフレクション活動を取り入れて—（愛知教育大学研究報告第 65 輯（教育科学編） pp. 149～156）	2016 年 3 月
論文（単）	草分京子さんから学ぶ教師の役割（弘前大学教育学部紀要第 118 号 pp. 179～187）	2018 年 3 月
論文（単）	「生徒の現実に応える中学校歴史学習の可能性—小林朗の「歴史日記」実践を通して—『弘前大学大学院教育学研究科教職実践専攻（教職大学院）年報』（弘前大学教育学研究科教職実践専攻（教職大学院））創刊号、1～8 頁	2019 年 3 月
論文（単）	「こどもと地域と教材と—小学校の授業を考える—」『歴史地理教育』（歴史教育者協議会）No. 892、104～109 頁	2019 年 3 月
論文（共）	授業が成立するために—中堅教員の聞き取りから考える教育養成への一考察—（共著者：村越含博、愛知教育大学教育創造開発機構紀要第 5 号 pp. 61～67	2015 年 3 月
論文（共）	教育実習（学校実習）と学校インターンシップによる学生の成長—学生の意見から考察して—（共著者：齋藤楓華、小林拓哉、大野貴弘、若宮遥香愛知教育大学教職キャリアセンター紀要第 2 号 pp. 77～84）	2017 年 3 月
論文（単）	「子どもの学びを支える教師の力量—社会科教育実践を通して—」『花園大学社会福祉学部研究紀要第 28 号、107～112 頁	2020 年 3 月
その他（共）	小学社会 6 年上・下（文部省検定小学校社会科教科書、著者：中妻雅彦、小林宏己、鎌田和宏、坂本正彦、池俊介、石橋昌男、磯山恭子、植田和弘、臼井忠雄、内山隆、追分充、大澤克美、釜田聡、栗原清、小池和男、斉藤涼子、坂井誠亮、重松克也、溜池善裕、土屋直人、恒吉涼子、寺崎千秋、寺本潔、中嶋太、中村昌子、波巖、伏木久始、堀新、堀竹充、堀田龍也、宮園衛、向山行雄、柳下則久、藪田實、山下真一、共同執筆につき担当部分抽出不可、教育出版）	2015 年 3 月
書評・その他	「今、読みたい社会科・歴史教育の古典 4 山本典人『小学生の歴史教室 上・下』」『歴史地理教育』No. 915、74～75 頁	2020 年 10 月
口頭発表（単）	教職大学院のティームティーチング授業を進める研究者・実務家教員の役割—授業科目「教育課程編成をめぐる動向と課題」を受講する学生意見をもとに—（平成 29 年度日本教育大学協会研究集会、愛知教育大学）	2017 年 10 月
口頭発表（単）	草分京子さんから学ぶ教師の役割（日本臨床教育学会第 7 回	2017 年 10

	研究大会、相模女子大学)	月
学会	「若手教員と共に成長するミドルリーダー—弘前大学教職大学院の学校実習を通して—」日本教師教育学会、岡山大学	2019年9月
